



超高齢社会に対応する施策について、 教員の働き方改革について

田中 謙二（日本維新の会）



問 健康寿命の延伸は喫緊の課題。介護予防や地域包括ケアは、「就労」を含む社会参加につながっているのか。

福祉参事 介護予防を重点施策の一つに掲げ、常設の通いの場整備など多様な主体と連携しながら各種事業を展開するほか、社会参加の側面から就労の機会の確保、充実にも取り組んでいる。

問 介護予防の観点から高齢者就労をどう位置づけるのか。また、高齢就労者と非就労者の健康状態の差について、どの程度把握しているのか。

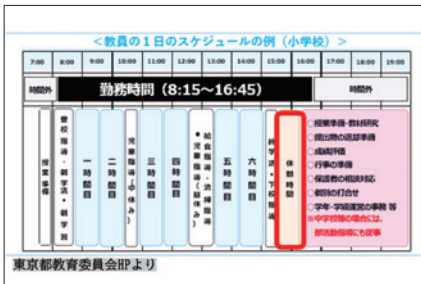
福祉参事 7年12月から実施する介護予防・日常生活圏域ニーズ調査において、新たに就労に関する調査項目を設け、実態を把握する予定。

問 教員の働き方改革について①教員の長時間労働を是正し、教育活動に専念できる環境整備が重要。現状について何う②全国調査では約3人に2人の教員が「ほとんど休憩を取れない」と回答。違法状態を早期に解消すべきと考える。教員は法定どおり休憩時間(45分)が確保されているのか。教育長の認識を問う③教員の勤務実態の正確な

把握のため無記名式アンケートを行うなど実態調査が必要。調査の必要性について市教育委員会の考えを問う。

教育長 ①教員の時間外在校時間は減少傾向②市立小中学校全校で休憩時間に勤務を命令している実態なく、適切に休憩時間確保できていることを確認。

教育部長 ③日々の休憩時間数を入力することは教員への負担の観点から難しいが、次期働き方改革プランでのアンケート実施も含め教員が意見を述べ改善策を提案できるよう、各学校における仕組みづくりを検討。



小学校教員の1日のスケジュール
※学校により異なるため例示



平和を希求する子どもたちの 純粋な心に学べ

平野 充（公明党）



問 市制施行70周年記念式典でピースメッセンジャー（中学生）が発表。武器や攻撃で解決する事態にしてはならない、「対話」の力で平和を実現・維持しよう決意。①洞察力や思索に富んだ発表内容の市最高幹部の受け止めは②平和派遣事業の本当の意義とは何か。

生文部長 ①平和派遣事業を通して学び、考えたことを自らの言葉で発表したことは多くの人の心に響いたと捉えている②多くの市民に平和の尊さを伝える機会を創出しているという点からも、中学生をはじめ子ども・若者を派遣することは大変意義あるものと認識。

問 市の虐待相談受理件数は児童相談所よりも市での受理が多い。養育家庭（里親）も充実。二葉学園や調布学園の存在も大きく、児相サテライトオフィス設置は効果的。設置の準備を。

子生参事 都にサテライトオフィス設置を要望し、具体的な検討を進めてきた。引き続き設置実現に向け検討・調整進め、都や多摩児童相談所と協議。

問 外環道工事で国有地として確保したフェンスで囲った区画が入間町2丁

目や緑ヶ丘にもある。三鷹市では暫定開放広場が開設。国・都・市が連携し、縦割りのこだわりを捨て財源不足や人手不足を補う活用を市から提案せよ。

外交部長 市は地域住民からの要望受け事業用地活用を要請するも適地なしと回答あり暫定利用に至っていない。引き続き地域住民の意見伺い事業者に要請するとともに、議員提案内容も参考に、地域の住環境向上に向け庁内で連携し、国等にも協力仰ぎ対策を模索。◆このほか東部地区のまちづくりについて質問しました。



ちょうふピースメッセンジャー2025
報告会



大規模災害時の対応について 不登校児童生徒の健康診断について

松野 英夫（公明党）



問 大規模災害時に①各避難所を運営する人員は何人参集できると想定しているか②人員不足が課題となっているが、その対応策の一つとして、共助の観点から住民による災害ボランティアを充実するべきでは。

危管部長 ①各避難所に20人程度を指定。職員自身の被災など勘案し、参集できる職員は正規職員の6割程度を想定②関係団体と連携し、防災フェア等で災害ボランティアの事前登録を図る。

問 不登校児童・生徒が学校の健康診断を受けられず、病気などが見逃されてしまうおそれがある。市の現在の対応と、今後の対応を問う。

教育参事 保護者の費用負担なく学校医等の医療機関での受診体制を整備。引き続き受診機会の確保に努める。

問 調布市手話言語条例・調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例について①制定後の対応は②市役所窓口での対応は③市のイベント等における施設での環境整備は④東京2025デフリンピックを区切りにするのではなく、ここからスタートするのだとの思いで共

生社会の充実を目指すべき。多様な意思疎通の支援に関して今後の展開は。

副市長 ①市内小中学校対象に調布市デフプログラムを実施。東京2025デフリンピックの機運醸成と手話に親しんでもらうための動画を作成し、広報。

福祉参事 ②筆談ボード、透明ディスプレイ等の設置や、手話通訳者を配置③手話通訳や要約筆記を利用できる環境整備。ヘルプカード等の配布継続と耳マークの周知に努める④必要な支援の把握に努め、コミュニケーション支援シート活用も検討し、取組を継続。



東京2025デフリンピック
バドミントン競技の様子



市民の声に耳を傾け、寄り添う市政と 主権者意識向上の取組を

磯邊 隆（調布ミライ政策会議）



問 住民参加型の行政運営は広聴システムの健全化から成り立つ。現在の取組は。また、AIチャットボットの導入の検討は。

副市長 広聴は庁内各部署と連携・協力し迅速かつ適切に対応。他自治体の取組やデジタル技術の最新動向を注視。

問 放置されてきた調布基地跡地留保地の活用は防犯の面からも望ましいが、森はある程度残す必要がある。また、グラウンド部分が広すぎる。スポーツをしない人に益はあるのか。

行経部長 調布基地跡地留保地施設整備基本計画には騒音や照明、道路交通環境等周囲への影響に留意した整備を位置づけていく。

問 市民が事業の是非を判断するための環境アセスメントの実施、公表を。

市長 環境アセスメント実施対象ではないが自然環境調査を実施。影響心配する声に留意し必要な保全対策を整理。

問 7年は都議選・参院選が行われた。全国的に投票率は上昇傾向。投票率向上に向けた市の取組状況を。

選管局長 期日前投票所を駅至近に移

転した神代出張所に変更し有権者の利便性や投票環境の向上を図った。また、選挙に関心を持ってもらうため、親子連れで投票した人に記念シールを配布。

問 投票に際し、自分の意見を持ち、どのように周りと話し合うか、民主主義の基礎体力が求められており、その基盤をつくるのは初等教育からである。教育の現場での主権者教育の現状は。

教育部長 市立小中学校では学習指導要領に基づき社会科等の指導実施。また、関係機関と連携し模擬選挙体験等実践的な学びの充実に努めている。



調布基地跡地留保地の航空写真
出典：国土地理院ウェブサイト

用語の解説 「一般質問の要旨」の※印の用語解説です

プレミアム付 商品券

購入額より高い価値で使える商品券で、取扱加盟店で使用できる。特定地域での販売促進や商工業活性化等が目的。

介護予防

要介護状態の発生をできる限り防ぐ（遅らせる）こと、そして要介護状態にあってもその悪化をできる限り防ぐこと、更には軽減を目指すこと。

地域包括ケア

高齢者が住み慣れた地域で安心して生きがいを持って暮らし続けられるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が包括的・継続的に提供されること。

養育家庭

様々な理由で親と一緒に暮らすことのできない子どもを、養子縁組を目的とせず一定期間養育する家庭のこと。

児相サテライト オフィス

東京都児童相談センター・児童相談所のサテライトオフィス。児童虐待に的確かつ迅速に対応するとともに、地域の実情に即した、よりきめ細かな児童相談体制を構築するための連携拠点。

調布市 デフプログラム

東京2025デフリンピック（聞こえない人のためのオリンピック）観戦時に子どもたちがより深い学びや気づきが得られるように、市内小中学校で行われた特別授業のこと。デフアスリートや聴覚障害者が講師となり、手話通訳者の協力も得ながら、デフスポーツや聴覚障害、手話を学ぶ授業を実施。

透明 ディスプレイ

音声をリアルタイムに文字に変換し、透明なパネルに投影するとともに、多言語での表示が可能な機器。